

1、山崎雄一郎副会長挨拶

- ・県 P 会長に高尾氏が就任(本日は所用により不参加)
- ・参加者へのお礼
- ・PTA 不要論もあるが、本日の研修は大変有意義なものになるのでしっかり学んでそれぞれの PTA 活動に役立ててほしい

2、県教育委員会 東部教育局 社会教育主事兼指導主事 坂本 浩二氏

○インターネット使用時間

- ・小 4-6 年 3 : 34 中 4 : 37 高 5 : 45
- ・一日 3 時間とすると 一年間 1095H > 一年生の年間授業時間 850H となる
- ・視力の低下 視力 1 未満小学生 30% 中学生 60%
- ・電子メディアとの付き合い方 保護者向けの情報もあるので活用を
- ・「とりのからあげ」 SNS との付き合い方 ver
壁紙のダウンロード企画(からあげのイラスト)
クイズなどを通じ親子で話し合ってみましょう

○ファシリテーター派遣事業の案内 アイスブレイク→グループワークの流れで進行

- ・子育て親育ちファシリテーター
- ・家庭教育アドバイザー
- ・子ども読書アドバイザー
- ・ケータイ・インターネット教育推進員(申し込み終了)

○コミュニティースクール・地域学校共同活動の取り組み

- ・学校と地域と一緒に子どもを育てる意識で
- ・子どもの環境が複雑化している
- ・地域も活躍し顔の見える関係に (パンフレット参照)

3、人権教育課 社会教育担当係長 本庄大志 氏

○OPTA 人権研修にファシリテーターを派遣 (一か月前には申し込みを)

- ・中ノ郷、瑞穂、国府東から予約
- ・対話、人間関係、仲間づくり、自尊感情、多様性などをテーマにしたプログラム
- ・各学校にも案内済み
- ・豊かな人権文化を築く学校づくり事業(支援事業、ファシリテーター派遣)
- ・子供向けのプログラム 子どもも学校も大人も一緒に勉強
- ・いじめのない学校づくりが主題(固くなりすぎないように配慮しながら進行)

4、各分科会へ移動

令和5年度PTA役員研修会 東部地区（記録）

日時：令和5年6月17日（土）13:40～15:30

場所：国府町コミュニティセンター 視聴覚室 参加者 26名

【第1分科会 不登校について】

研修は前半・後半に分けて行われ、それぞれの講師から講演とグループ討議により不登校について学んだ。

〈前半〉

1. 講師自己紹介

鳥取県いじめ・不登校総合対策センター 指導主事 西村 学 氏

2. アイスブレイク

- ・周囲4人程度のグループで自己紹介をした後、ジャンケンと古今東西ゲームで場を和ませる。

3. 講演内容

- ・不登校の定義、小中学校の不登校の児童・生徒数、欠席日数別の不登校の割合、生活の様子、不登校のきっかけ等について学んだ。

4. その他

講演を通じて、印象に残った言葉は次のとおり。

- ・親が元気であれば、子どもも元気になる。
- ・不登校というだけで、問題行動ではない。
- ・待つことが大事。例えば、理由を問い詰めない等。

〈後半〉

1. 講師自己紹介

鳥取県いじめ・不登校総合対策センター 指導主事 濱橋 香織 氏

2. 講演・グループ討議内容

- ・不登校になる前兆、不登校の回復プロセス、心に寄り添う基本アプローチ等、子どもたちを支えるための基礎知識について学んだ。

(演習①)

- ・朝、子どもがお腹が痛いと言った時(今週3回目)、親の立場になってどう声掛けを行うか、少人数のグループで意見交換を行った。

(演習②)

- ・地域の一員として、PTAとして、a) 子どもが最近登校班と一緒に登校できない、b) ○○さんが最近元気がないという場合、保護者同士の繋がりやどんなサポートができるか、少人数のグループで意見交換を行った。

3. 最後に（講師から一言）

- ・新型コロナの5類移行により集まる機会が増えてくる。不登校については今回のように、研修等を通じ学んでいくことが大切である。

以上

令和5年度PTA役員研修会 東部地区（記録）

日時：令和5年6月17日（土）13:40～15:30

場所：国府町コミュニティセンター 視聴覚室

参加者 27名

【第1分科会 不登校について】

研修は前半・後半に分けて行われ、それぞれの講師から講演とグループ討議により不登校について学んだ。

〈前半〉

1. 講師自己紹介

鳥取県いじめ・不登校総合対策センター 指導主事 西村 学 氏

2. アイスブレイク

- ・周囲4人程度のグループで自己紹介をした後、ジャンケンと古今東西ゲームで場を和ませる。

3. 講演内容

- ・不登校の定義、小中学校の不登校の児童・生徒数、欠席日数別の不登校の割合、生活の様子、不登校のきっかけ等について学んだ。

4. その他

講演を通じて、印象に残った言葉は次のとおり。

- ・親が元気であれば、子どもも元気になる。
- ・不登校というだけで、問題行動ではない。
- ・待つことが大事。例えば、理由を問い詰めない等。

〈後半〉

1. 講師自己紹介

鳥取県いじめ・不登校総合対策センター 指導主事 濱橋 香織 氏

2. 講演・グループ討議内容

- ・不登校になる前兆、不登校の回復プロセス、心に寄り添う基本アプローチ等、子どもたちを支えるための基礎知識について学んだ。

(演習①)

- ・朝、子どもがお腹が痛いと言った時(今週3回目)、親の立場になってどう声掛けを行うか、少人数のグループで意見交換を行った。

(演習②)

- ・地域の一員として、PTAとして、a) 子どもが最近登校班と一緒に登校できない、b) ○○さんが最近元気がないという場合、保護者同士の繋がりやどんなサポートができるか、少人数のグループで意見交換を行った。

3. 最後に（講師から一言）

- ・新型コロナの5類移行により集まる機会が増えてくる。不登校については今回のように、研修等を通じ学んでいくことが大切である。

以上

東部役員研修会 第3分科会

新しい時代に求められる学力とは？GIGA スクール構想のねらうもの

冒頭の挨拶→チャットGPTで考えたもの

○今の子供たちは、Googleに聞けば答えを得られる。生まれた時からネットワーク社会で生きている。

○子供たちは、将来どんな世界を生きていくのか。

society5,0→人の可動性が広がる、必要な情報が必要な時に提供される、

高度経済成長→人口減少社会

給料が上がらないと悟ると、人間は自分固有の幸せを考え始める。価値観が変わってくる。

自分の生き方を考え自分にあった学校に進学し自分らしい仕事をする。

仕事の半分が機械にうばわれる ・スポーツの審判 ・レジ係 ・銀行の金融担当など

<子どもたちがインターネットとより良く付き合っていくために～保護者の皆さんに知ってほしいこと～>

☆classroomで付箋貼り体験 ☆Googleフォームでアンケート体験

○インターネット利用率は年々増加。ネット依存・ゲーム障害の患者も増加。

インターネット利用時間の長い子程、学力が低い傾向にある。

○家庭でのルール作りが重要！！曖昧なルールではなく、数値的に分かり易い物。

(ルール作りのポイント)

- ・具体的な数字を入れる
- ・使ってはいけない「時間・場所」は？
- ・ルールを守るための工夫
- ・ルールを守れなかった時はどうするのかも決める

<全校学力・学習状況調査>

- ・全校の小学校6年生、中学3年生
- ・国語、算数、数学、英語(3年に1度)、理科(3年に1度)

鳥取県は全国平均に比べ、平均点数がやや低い。

☆学力調査の実際の問題を体験

<学習指導要領(10年に1回位変化する)>

現在→社会に開かれた教育課程、資質・能力の3つの柱、カリキュラム、マネジメント、主体的、対話的で深い学びが求められている。

将来を予測するのが困難な時代に求められるのは、

- ・学びに向かう力、人間性
- ・思考力、判断力、表現力
- ・知識及び技術

こんな授業を推進しています

① 時間制限 ② 字数制限

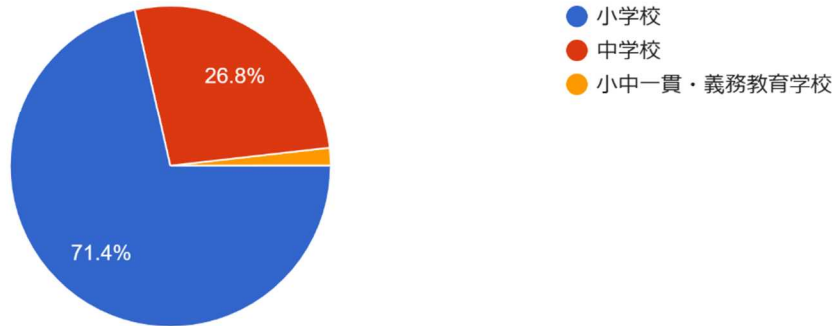
③ 内容・構成等 ・結論を先に述べる・要約を挿入する・キーワードを挿入する・接続詞を使う
「しかし・・・」「そのため・・・」・自分の考えを書く

- ・一人一人に合った学びかた
- ・個別最適な学び
- ・共同的な学び

R5 東部役員研修会 アンケート結果

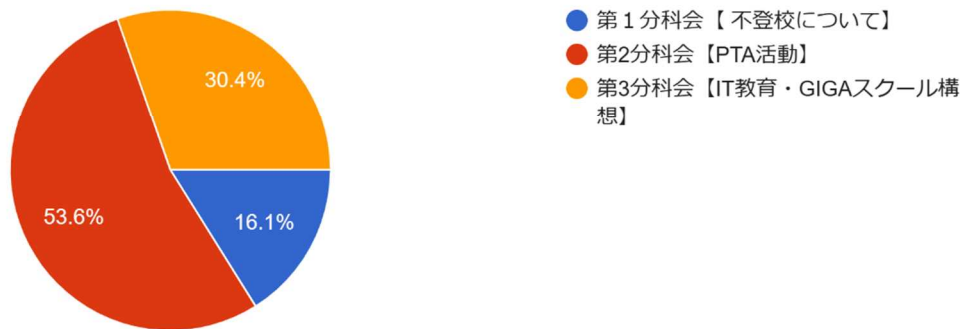
1 学校区分

56 件の回答



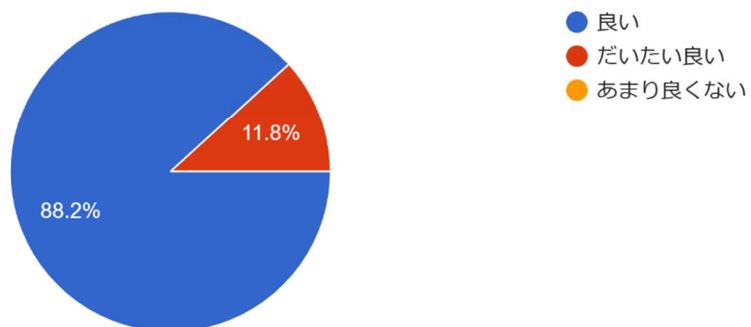
2 参加分科会

56 件の回答



3 分科会について（1）テーマ（不登校、PTA活動、IT教育・GIGAスクール構想）について

51 件の回答



(2) 本日、研修した内容について

第1分科会 不登校について

- ・全員が一度自分事として考えてほしい問題
- ・不登校児童数が増えており歯止めをしたい。前兆を知る、知らないでは対応が変わり、不登校を防ぐことができるかもしれない。
- ・保護者として不登校について学びを深める事ができた
- ・すごく良い内容だったので、ぜひ学校でも講演をしていただきたいなと思いました。私自身息子が不登校を経験したので、不登校のプロセスは、まさにこの通りだったと思いましたし、夫婦関係、祖父母との関係もとても辛い時期がありました。今は、それらを乗り越え、子どもも自分の夢や目標に向かえる高校3年生となりました。夫婦関係も本当の意味で絆が深まりました。今まで、不登校になってくれたことで、たくさんのメリット人生の充実感を感じています。これまでたくさんの先生、保護者さん、専門機関の方にお世話になって今があるので、私も少しでも力になれるよう PTA 活動に協力していきたいと思います。ためになる研修会ありがとうございました。
- ・不登校・引きこもりは誰でも起こり得る。問題行動ではないので、我が家で起こった時に知っておくと良いと感じました。
- ・心に届いた。今日やった内容を全保護者で共有した方がいい。
- ・過去事例であったが、先生からの言葉や対応で行きしぶりが始まった例があり、その話しかなかったのを盛り込んでほしかった。

第2分科会 PTA 活動

- ・他の地区の状況を知り、自分の学校の良いところや問題点を再認識できた。
- ・色々な意見が出た
- ・改めて前向きに PTA 活動を捉えることができた
- ・情報共有がとても参考となり良かったです。
- ・色々な考え、手法を知ることができました。
- ・熱意を継承したい
- ・他の学校の状況を踏まえた意見がとても参考になった
- ・PTA 活動に対して前向きな考えを持てた
- ・PTA 活動の役割、課題、課題に対していろいろな意見が聞けて参考にしていきたい
- ・ちょうど部会での決定事項に当てはまるものがあつたので、提案したいと思う。
- ・PTA として何ができるのか、何を発信できて、保護者の孤立を防げるのか検討していくことが必要。
- ・初めて参加しましたが、とても勉強になりましたし参考になる意見が聞けてよかったです。
- ・情報共有に加え、保護者同士で話をする機会をつくることができると、それぞれの立場で何ができるか考えることができると思う。
- ・各校でも共有できる内容だった。
- ・他の PTA の話が聞けてよかった。私の話も聞いてくれてスッキリした。
- ・色々な学校の話ができて良かった
- ・課題を話していて、負担感を感じる人が多いのですが、それでも少しでも解決策が出るのが良いと思いました。
- ・誰でも参加できる PTA 作りが大切と感じた

- ・いろいろな意見、考え方を発表してもらって参考になった。
- ・いろいろな学校の意見が聞けた。
- ・仕事量の増加、負担が少なくなる可能性を考えたい。
- ・色々な学校の活動を聞かせていただくこともでき、とても学びの多い研修会でした。PTA 1年目で、基礎的なことから分からないことだらけでスタートしていますが、今回の研修に参加して、頑張れる勇気をいただきました。PTA のこともだいぶ理解できたように思います。自分自身、楽しく子どもたちが生き生きと学校生活を送れるよう取り組めたらと思いました。
- ・課題の整理に役立ちそう
- ・とてもたくさん参考になる意見が聞けて良かった。PTA が楽しくなるように活動できたらいいなと思った。
- ・PTA 役員という立場の負担感をなくすという議題がよかった。参考にしたい意見があった。

第3分科会 IT・GIGA スクール

- ・教育の軸の流れや今後必要なスキルについて興味深く聴く事が出来た
- ・自分が習った頃の学習指導内容とは程遠いものになっている事は保護者達に共有したい
- ・今現在も課題となっていることで、とても勉強になりました。
- ・子どもが日々取り組んでいる GIGA スクールの状況が分かって良かった。
- ・今まさにスマホが欲しいと子どもが言っているので、親子で話し合うべきことを伝えていきたい。
- ・将来子どもたちに求められる能力の事や、この先どんな時代がくるのかといった内容は、PTA の皆さんにも聞いてほしい内容であった。
- ・保護者研修会のグループミーティングを子どもたちが実際に使っているタブレットを使ってミーティングをしてみると、子どもたちの方が慣れている学習方法にも保護者が体験できて良かった。
- ・鳥取県デジタル・シティズンシップエデュケーターは、自分の小学校にもしてほしいと思った。
- ・子どもたちの学習が体験できて有意義だった

4 今後研修したい内容

- ・現代の教員の特性について
- ・子どもたちの学力変動について
- ・PTA 活動で子供達をどのように楽しませるか、関わっているのかについて
- ・防災
- ・先生の負担をどう考えるか(部活動のあり方など)
- ・インターネットと上手な向き合い方、SNS と家庭のあり方
- ・不登校児童との接し方
- ・今回のような IT 教育や英語教育等、教育環境の変化について。
- ・無理なく楽しんで子どもの為に活動できる PTA 活動の仕方について(退会者が出てきているので)
 - ・コミュニティスクールにより実際にどのような取り組みをされているのか良い例があれば聞いてみたい(今の学校現場は本当に大変です)先生方も悲鳴をあげています。
- ・PTA 活動、その後の話がしてみたい。
- ・どんな活動をしているのか他校のことを知りたい。
- ・教職員から見た PTA 活動がうまくいっている学校の取組などの紹介
- ・親、教員を含めた指導者的立場の人の質の話

5 全体を通して

- ・ここまでのご準備有難う御座います
- ・グループで話し合いをするときに、会場が狭くて周りの声があつて聞き取りづらかった。
- ・久々の参加で再び単Pでも頑張ろうと思いました
- ・進行役の松岡さんがテンポよく進めてくれてとても良かったです ありがとうございます
- ・とても有意義な時間を過ごすことができました
- ・親世代の常識が通用しないことを改めて知りました。多種多様な世の中になり、様々な選択肢があるからこそ、学校と地域や保護者との連携が必要なのだと感じました。研修に参加して良かったです。ありがとうございます。
- ・資料がほしいです(今日の話の内容) 相談支援の連絡先等あればよかった。
- ・意見が多く出たのがとても良かった
- ・大変良かった。学校に持ち帰り話をしてみます。
- ・他の学校の方とも話ができてよかったです。ありがとうございます。
- ・学校(全校生徒数)に違いがあり、大人数の学校と少人数の学校で PTA に対する考えにも違いがあったように感じます。色々な意見を聞いて良かったです。
- ・皆さんと色々話ができて楽しかった。研修会に参加させて頂きありがとうございます。
- ・研修の中身を集約して情報蓄積していただければありがたいです。
- ・他地域の PTA の話が聞け、大変よかった。
- ・とても楽しかった。ありがとうございます！
- ・沢山の学びがあった。ありがとうございます。
- ・教育委員会の講師の先生方のお話の仕方・進め方が大変お上手で(当たり前ですね)、正直参加する前は寝たらどうしようと心配していたが、とても楽しかった。
- ・初参加でしたが良かった。
- ・参考になる事があった
- ・親同士で考えていただきたい研修だった。共有していきたい。
- ・子どもとの関わり方(不登校未然防止として) 学校の研修会等でできたらと思いました。
- ・とても良かったので、違う分科会の話も聞いてみたい。